

ふるさと講座・自然系

西別湿原ヤチカンバ群落地を観察しよう

～北海道指定文化財(天然記念物)指定記念～

日本で2ヶ所しか自生していない貴重な植物、ヤチカンバの観察会を北海道指定を記念して開催します。ぜひ、ご参加ください。

- 日 時 平成23年6月26日(日)
午前9時～12時
- 場 所 郷土資料館・西別湿原ヤチカンバ群落地
※集合・解散は郷土資料館です。
※郷土資料館⇄ヤチカンバ群落地までは、
当館で送迎します。
- 講 師 栗野 武夫 氏
(中標津町在住・ヤチカンバ群落地発見者)
- 定 員 15名(電話・FAX・メールにて氏名・電話番号
を6月24日(金)までにご連絡ください。)

(写真上 ヤチカンバ 写真下 栗野武夫氏)



ふるさと講座自然系 「シギ・チドリ観察会」

5月15日(日)、別海町郷土研究会長の渡辺昇氏さんの講師により、「シギ・チドリ観察会」を風蓮湖にて実施しました。シギ・チドリ以外にもたくさんの野鳥を観察する事が出来、風蓮湖の豊かな自然を満喫しました。

●観察出来た野鳥

コサギ、チュウサギ、アオサギ、カワアイサ、キンクロハジロ、スズガモ、クロガモ、ウミアイサ、ハシビロガモ、キョウジョウシギ、ハマシギ、ミヤコドリ、オジロワシ、アカエリカイツブリ、オオソリハシギ、タンチョウ、ヒバリ、ハクセキレイ、ビロードキンクロ、オナガガモ、ヒドリガモ、ウミウ



近世の別海を探る 「西別川河口から北」～その7～

ヒラクシナイ

近世文献資料の標記は「ヒラクシナイ」「ヒラクシナイエ」「ヒラクシナイ」です。詳しい位置などはわかっていません。

ライトコタン

文献資料の標記は「ハイツコタン」「ライトコタン」「ラエトコタン」「ウエントコタン」「ライ チ コタン」があります。

○地名の由来

☆〔ライトコタン〕

- ・「是往古トコタンの川口也」

『東西蝦夷山川地理取調紀行 東蝦夷日誌』松浦武四郎 安政3年(1856)

☆〔ライトコタン〕

- ・「昔のトコタンにて古川のよしかれる沼所」

『丙寅慶応二年正月吉日 万覚帳 安政六末年 子モロ地名和解書』

加賀伝蔵 安政6年

☆〔ライ チ コタン〕

- ・「死枯村」

『北海道蝦夷語地名解』永田方生 明治24年(1891)

○地勢と建物など

松前藩復領時代 文政4年(1821)～安政元年(1854)

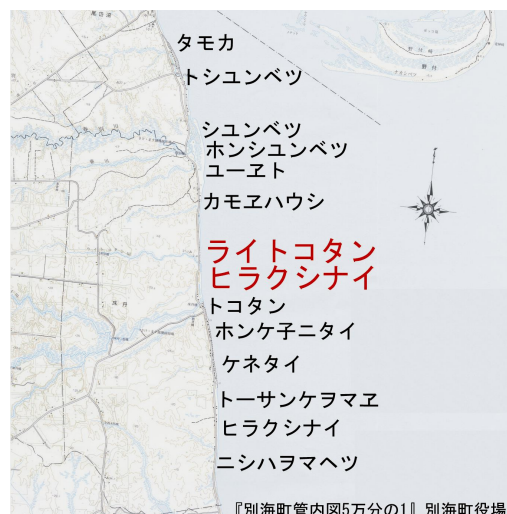
- ・「沼内也。砂岸ニ添。」

『初航蝦夷日誌』松浦武四郎 弘化2年(1845)

幕府再直轄時代 安政2年(1855)～慶応3年(1867)

- ・「但小川有」

『丙寅慶応二年正月吉日 万覚帳 安政辰三年調〔子モロ里程〕』加賀伝蔵 安政3年(1856)



別海町郷土資料館だより No.143

発行日 平成23年6月1日

発行所 別海町郷土資料館

別海町別海宮舞町30番地

電話 0153-75-0802 (FAX 兼)

e-mail kyoudo@betsukai.jp

編集後記

サクラは、咲きましたが、気温がなかなか上がりません。休日には特に寒い日が多いような気がします。また、太陽も顔を出さないような気がします。どうしてしまったのでしょうか？ 6月は運動会シーズンです。晴れてくれるよう祈るしかありません。(K.I)